



令和4年6月

「理解はしているけど気持ちがね」

「じゃあ～、〇〇しようかな」

最近の娘の口癖です。5月に2歳になり本格的に「イヤイヤ期」を迎えて、何を言っても反対の事を言って拒否をしています。こちらは、上手くごまかしながら大人の思惑に乗せようとするのですが、言葉が達者な娘はそれを「じゃあ～」のキラーフレーズを使ってひっくり返して行きます。

例えば、ご飯の時に「ご飯食べるよ」と声をかけると、「イヤ」「ヤダ」などの否定の言葉をあえて使わずに「じゃあ～、あおちゃんはおえかきしようかな！」と笑顔で答えます。

私も、20年近く保育や福祉の仕事をしているので、この時期の発達の勉強はしていますし、保育士として保育園で働いている時に、1歳児クラスや2歳児クラスの担任も経験しているので、実践経験も積んでいるつもりです。

子どもが「イヤ」「ヤダ」と自己主張をする事は、自分で出来る事が増えて来の中で、「自我」の育ちによって表れてくる事なので、成長の過程にはとても大切な事なのです！……という教科書的な事は重々承知をしております！

対処方法として、子どもに「〇〇と△△どっちにする？」と選択肢を提示して「自分で選ばせてあげる」という事も分かっています！

しかし、それを軽々と飛び越えて「じゃあ～」という一言でひっくり返され、朝の忙しい時間で向き合う時間も無い状況…。

笑顔を保ちながらも時計を見て「今の時間から食べ始めないと間に合わないかも…」半分諦めながらもあの手この手で説得をする日々が続いています。

理屈ではわかっていて理解もしているけれど、感情的に受け入れられない又は整理出来ない事というのは、社会の中で人と関わりあって生活をしていると必ず訪れます。

その中で、表面上出ている「言葉」と内面に隠された「本心」は必ずズレが生じます。これは、「嘘」や「ごまかし」ではなく、人間関係を円滑に進めてくための「技術」ですね。もし、誰もが思った事や感じた事をそのまま言葉にしていたら必ず軋轢が生まれてしまうでしょう。

娘がその場を穏やかに上手く乗り切る為の工夫をしているのだと感じながらも、余裕がある時には娘の「じゃあ～」にこちらも「じゃあ～」と返しながら根競べをしています。

児童通所課 嵯峨憲司





5月

活動報告



1 部

-お試しプログラム-

曜日別プログラムに向けて、子ども達の現状の習熟度や興味を把握するためのお試しプログラムを行いました。

「出来る・出来ない」を見るのではなく、「どんな活動が好きか」「身につけてほしい力」を中心に活動しました。

子ども達も集中して取り組んでいました。

-お試しプログラム項目-

- ・作業
- ・お金
- ・生活
- ・対人コミュニケーション
- ・買い物
- ・身だしなみ



2 部

全国とつながろうプロジェクト

MJ3事業所の合同プロジェクトとして全国の放デイとオンラインでつながり交流を深める企画を行っています。

5月は北海道の子ども達とつながりお互いの地元の紹介や名産品の交換をしました。



2部 土曜MJ

毎月第1・第3土曜日にサークル形式で“土曜MJ”を行っています。
どのプログラムも和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく活動しております！
今月は第3週目のプログラムをご紹介します。
半年間、同じメンバーで取り組んでいますが途中からの参加も大歓迎です！！



パソコン基礎



スポーツ